

市版SDGs調査 2020(地域の持続性調査)
1位は川越市。愛着・定住意欲は福岡市、満足は豊橋市
 最大の悩みは低収入・低賃金で、市民の半数以上が悩む市も

2020年1月21日
 株式会社ブランド総合研究所

株式会社ブランド総合研究所は、このたび全国の政令指定都市、中核市、県庁所在市の83市を対象とした市民目線による悩みや社会の課題、および幸福度や定住意欲度などに関する地域の持続性を明らかにする「市版SDGs調査2020」を実施しました。

世界中で取り組みが進むSDGs。日本全国でも取り組みが始まっていますが、そもそも地球全体の視点で作られたものであり、日本各地での状況を踏まえた「住民の視点」になっているとは言えません。少子高齢化や地域の疲弊が大きな課題となっている日本の各地域では、その実態を加味した住民視点での地域版「持続的な開発目標」も必要なのではないでしょうか。

「市版SDGs調査」は、市民が感じている「悩み」、「社会の課題」について全100項目と、幸福度や定住意欲度、満足度など計106項目からなる調査として設計しました。この調査に先立ち、2019年9月には47都道府県の住民、計15,926人を対象に実施した都道府県版の「地域版SDGs調査」も実施し、大きな反響を得ました。本調査も、持続的な発展のために、地域が直面している課題を明らかにし、住みやすい地域づくりにつながることを目的としています。

<調査結果の概要>

◆1位は川越市。幸福度も1位

本調査では市民の生活についての評価指標である「幸福度」および生活の「満足度」、社会や居住市に対する持続性につながる指標である「愛着度」と「定住意欲度」の計4つの指標の平均点を総合指標である「SDGs指数」を算出しました。

その結果、83市のうち最もSDGs指数が高かったのは、川越市(埼玉県)となりました。同市は幸福度も全国1位で、満足度は4位、愛着度10位、定住意欲度13位と4つの指標の評価がいずれも高くなっています。2位は金沢市(石川県)で、同市も4指標ともに10位以内と高い評価となっています。

3位は西宮市、4位に明石市と兵庫県
 の市が続きましたが、同県では神戸市も

順位	市名	SDGs指数	幸福度	満足度	愛着度	定住意欲度
1	川越市	74.7	74.8	69.0	78.8	76.1
2	金沢市	74.5	70.9	66.5	80.8	79.6
3	西宮市	74.3	70.9	69.2	79.2	77.7
4	明石市	74.1	70.0	69.4	77.9	79.1
5	福岡市	74.0	67.4	65.6	81.0	82.0
5	豊橋市	74.0	72.1	70.6	77.2	76.1
5	札幌市	74.0	68.1	66.3	80.8	80.7
8	神戸市	73.8	68.5	65.2	80.6	80.9
9	高槻市	73.5	69.1	68.1	77.7	79.2
10	京都市	73.4	70.9	65.5	80.3	76.9
11	豊中市	72.4	71.2	68.1	75.0	75.5
11	高崎市	72.4	70.8	66.1	75.7	76.8
13	松山市	72.3	67.1	65.7	78.9	77.5
14	岐阜市	71.8	71.1	65.3	76.4	74.3
15	鹿児島市	71.7	69.0	63.5	79.5	75.0
15	名古屋市	71.7	69.4	65.4	76.2	75.8
17	浜松市	71.3	69.8	65.2	75.6	74.8
17	広島市	71.3	67.4	63.4	79.7	74.5
19	福井市	71.1	71.3	63.3	74.7	75.0
20	富山市	70.9	70.7	64.3	75.2	73.6
83市平均		69.0	67.6	62.4	74.0	72.0

8位にランクインしています。なお、都道府県版では兵庫県は7位となっていました。

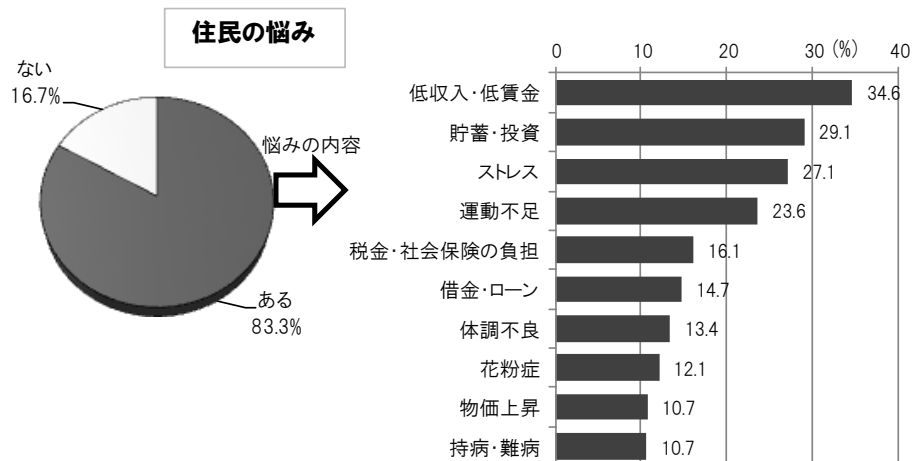
5位には福岡市、豊橋市、札幌市が並びましたが、福岡市は愛着度と定住意欲度で全国1位、豊橋市は満足度で1位となっています。

◆3人に1人が「低収入・低賃金」に悩み

回答者自身や家族の問題として抱えている不満や悩みを、48項目の中から選んでもらったところ、「悩みはない」と回答したのは16.7%で、残りの83.3%は悩みがあると回答しました。

具体的な悩みとして最も多かった悩みは「低収入・低賃金」で83市平均で34.6%。この結果は市によって大きく異なっており、宮崎市(52.7%)と青森市(50.9%)は市民の半数以上が悩んでいるという結果になりました。逆に最も少なかったのは西宮市で23.0%。次いで岡崎市と越谷市の23.5%となりました。

「低収入・低賃金」の次に多かったのは「貯蓄・投資」で29.1%、次いで「ストレス」27.1%、「運動不足」23.6%の4項目がいずれも20%以上となりました。SDGsのゴール(ジャンル)別では、「①貧困」、「③健康・福祉」に関連する項目で上位10項目を占めています。

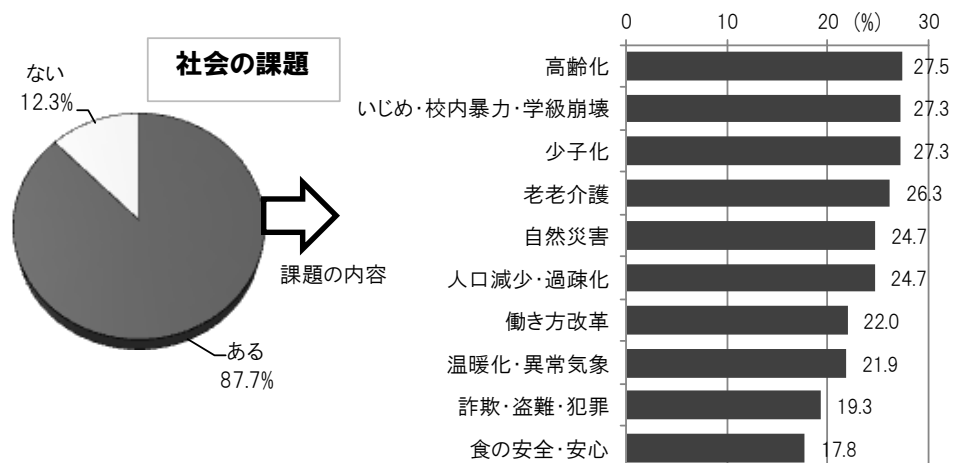


◆社会の課題は「高齢化」がトップ

「社会として取り組むべき課題」の48項目の中で最も多かったのは「高齢化」で27.5%。60歳以上では41.2%ですが、20代では18.7%となっており、年代が高いほど課題と考える人の比率が高いようです。なお、市別では高知市と福井市の40.0%が最も高くなりました。

次に多かったのは「いじめ・校内暴力・学級崩壊」と、「少子化」で27.3%。市別で最も多かったのは「いじめ・校内暴力・学級崩壊」が仙台市で41.9%、次いで那覇市の40.9%でした。また「少子化」は佐世保市が45.0%、次いで秋田市が41.3%で、いずれも市民の4割が課題だと感じているようです。

なお、「取り組むべき課題はない」との回答は83市平均で12.3%で、およそ9割が課題があると感じているようです。



◆平均では64%が「幸せ」と回答

83市平均では26.7%が「とても幸せ」、37.3%が「少し幸せ」と回答するなど、計64.0%が「幸せ」と回答しました。これらの回答を加重平均して算出した「幸福度」のランキングを右に示しました。

1位は川越市で、同市では4割近い39.1%が「とても幸せ」と感じています。次いで佐世保市、豊橋市、熊本市、姫路市と続きました。中部地方では福井市が6位、岐阜市が8位、金沢市が10位となっています。

生活満足度が最も高かったのは豊橋市で、22.8%が「とても満足」と答えています。一方、「とても満足」が6%以下の市が3市あるなど、結果の差が大きくなっています。

◆愛着・定住意欲は福岡市が1位

愛着度が最も高かったのは福岡市で、半数の50.0%が「とても愛着がある」と答えるなど、83.5%が愛着があるという結果になりました。

僅差で札幌市と金沢市、そして神戸市、京都市と続いています。いずれも人口が多く、観光面でも人気の高い市となっています。

定住意欲度でも1位は福岡市。53.2%が「ぜひ住みたい」と回答するなど、83.0%に定住意欲があるという結果に。2位以下では神戸市、札幌市、金沢市と愛着度の上位の市が占めました。その中で高槻市が5位、明石市が6位、西宮市が7位と近畿の中核市が並んでいます。

一方で、「移住したい」と答えたのは83市平均で12.8%で、20代では16.6%、30代では13.0%でした。

◆幸福度ランキング

順位	市名	幸福度
1	川越市	74.8
2	佐世保市	74.1
3	豊橋市	72.1
4	熊本市	71.9
5	姫路市	71.5
6	福井市	71.3
7	豊中市	71.2
8	岐阜市	71.1
9	徳島市	71.0
10	京都市	70.9
10	金沢市	70.9
10	西宮市	70.9
13	高崎市	70.8
13	岡崎市	70.8
15	富山市	70.7
16	奈良市	70.2
17	明石市	70.0
18	津市	69.9
19	浜松市	69.8
19	松江市	69.8
83市平均		67.6

◆生活満足度ランキング

順位	市名	満足度
1	豊橋市	70.6
2	明石市	69.4
3	西宮市	69.2
4	川越市	69.0
5	豊中市	68.1
5	高槻市	68.1
7	金沢市	66.5
8	札幌市	66.3
9	高崎市	66.1
10	さいたま市	65.9
11	岡崎市	65.8
12	松山市	65.7
13	福岡市	65.6
13	千葉市	65.6
15	京都市	65.5
16	川崎市	65.4
16	名古屋市	65.4
18	岐阜市	65.3
19	浜松市	65.2
19	熊本市	65.2
19	神戸市	65.2
83市平均		62.4

◆愛着度ランキング

順位	市名	愛着度
1	福岡市	81.0
2	札幌市	80.8
2	金沢市	80.8
4	神戸市	80.6
5	京都市	80.3
6	広島市	79.7
7	鹿児島市	79.5
8	西宮市	79.2
9	松山市	78.9
10	川越市	78.8
11	盛岡市	78.3
12	明石市	77.9
13	高槻市	77.7
14	豊橋市	77.2
15	高知市	77.0
15	倉敷市	77.0
15	横須賀市	77.0
18	長野市	76.8
19	枚方市	76.6
19	佐世保市	76.6
83市平均		74.0

◆定住意欲度ランキング

順位	市名	定住意欲度
1	福岡市	82.0
2	神戸市	80.9
3	札幌市	80.7
4	金沢市	79.6
5	高槻市	79.2
6	明石市	79.1
7	西宮市	77.7
8	松山市	77.5
9	倉敷市	77.1
10	京都市	76.9
11	高崎市	76.8
12	横浜市	76.2
13	川越市	76.1
13	豊橋市	76.1
15	名古屋市	75.8
15	大阪市	75.8
17	豊中市	75.5
18	さいたま市	75.4
19	北九州市	75.3
20	大分市	75.1
83市平均		72.0

<調査概要>

市版 SDGs調査 2020 は、全国の男女、15 歳以上を対象に、2019 年 11 月 19 日から 12 月 23 日にかけてインターネットで調査を実施し、13,753 人の有効回答を得た。

調査対象は政令指定都市、中核市、県庁所在市の計 83 市。調査対象者は調査モニターの中でそれらの市に居住している市民で、調査項目は幸福度、満足度、愛着度、定住意欲度、SDGs認知度、投資経験の基本指標 6 項目のほか、住民の不満や悩み、社会として取り組むべき課題など、合計 106 項目について回答。

- ・ 調査方法 インターネット調査
- ・ 調査対象 政令指定都市、中核市、県庁所在市の計 83 市
- ・ 回答者 登録調査モニター(15 歳以上)から、対象市ごとに市民を抽出
- ・ 回収数 13,753 人(各市から約 200 人を目標に回収)
- ・ 有効回答数 13,270 人 (不完全回答および非居住者を除いた)
各都道府県は約 160 人(一部で有効回答数が少ない市がある)
- ・ 調査時期 2019 年 11 月 19 日～12 月 23 日
- ・ 調査項目 基本指標: 幸福度、満足度、愛着度、定住意欲度、SDGs認知度、金融商品への投資経験などの 6 項目
市民の悩み: 「低収入・低賃金」など 50 項目
社会として取り組むべき課題: 「農林水産業の衰退」など 50 項目
回答者属性: 年齢や性別、婚姻、子供の有無、世帯年収、居住形態など

<調査報告書>

総合報告書+個別報告書:150,000 円(税別)

総合報告書 70 ページ+個別報告書 10 ページ程度

<ブランド総合研究所の会社概要>

「都道府県・魅力度ランキング」など地域・自治体の評価指標として全国で注目されている「地域ブランド調査」を毎年実施している、地域活性化を主体とした調査とコンサルティングの専門企業です。同調査以外にも、地域ブランドに関する調査とシティプロモーションなどの戦略立案などを実施しているほか、環境活動の調査も実施しています。また、英国ギネスワールドレコーズの公式パートナーとして各地でギネス世界記録への挑戦サポートも行っています。

なお、代表取締役社長の田中章雄は地域ブランドの提唱者として全国各地で地域ブランドに関する講演を行っているほか、地域ブランドアドバイザーとして弊社コンサルタントやアナリストなどのスタッフと総力をあげて、全国各地の地域の活性化に取り組んでいます。

- ・ 本社 東京都港区虎ノ門1-8-5(〒105-0001)
- ・ 代表者 代表取締役 田中章雄
- ・ 資本金 2500 万円
- ・ 設立 2005 年 11 月

<問合せ先(メディアおよび読者とも)>

株式会社ブランド総合研究所 (担当: 森)

Tel. 03-3539-3011(代) Fax.03-3539-3013

E-mail: sdgs@tiiki.jp